



2001年 10月 題もみじ狩り  
年にね 我が小庭にて もみじ狩り  
作/宮前 一枝

【宮前 一枝さん】  
若い頃はあちこちの紅葉を楽しみました。今は、小さいながらも我が家の庭で楽しんでます。四季の移り変わりがあるのはいいものです。

【西沢まもるの一言】  
居ながらにして紅葉見物なんて、サイコー！ シアワセを感じてしまっています。



2001年 7月 題海  
はじめての海は広いなしょっぱいな  
作/中島 捷治

【中島 捷治さん】  
今から50年前、初めて海を見た時の事を匂にしました。小学6年の修学旅行で谷浜へ行ったのですが、車が直江津で故障。二駅分歩きました。

【西沢まもるの一言】  
広さはともかく、おいしい水しか知らない信州人にとって、海の水のまずさはショックでした。川と比べて体がよく浮くのはうれしいショックでした。



2001年 4月 題花見  
一枝の桜で和む 古い二人  
作/鈴木 ツルエ

【鈴木 ツルエさん】  
自分の人生も熟年期に。一枝に咲いた花にも何か心が和みます。桜の木の下を伸びつまじく散歩する老夫婦に自分を重ね、詠みました。

【西沢まもるの一言】  
サクラとくれば、まず思い出するのは小学校の校庭の桜。新入学の記念写真も、桜が咲いてから撮りました。青空をバックに咲き誇る桜を見ると、生きる元気が湧いてきます。



2001年 1月 題新世紀  
新世紀宇宙の旅を 予約する  
作/吉原 厚水

【吉原 厚水さん(川中島川柳会事務局長)】  
川柳は人間のうた。誰でも楽しめます。例会は毎月第3土曜午後2時から寺町公民館で。見学自由です。関心のある方は気軽においでください。

【西沢まもるの一言】  
人類が月面にたつてから約30年ですか。21世紀は宇宙旅行も夢ではないですね。でも、私はちょっと恐いですよ(笑)。皆さんと楽しいコーナーに。



2001年 11月 題露天風呂  
半生のストレスとりたや 露天風呂  
作/小林 義武

【小林 義武さん】  
心も体も癒してくれる、露天風呂にゆったりとつかり、夢中で生きてきた半生でたまったストレスをとれたなら。そんな思いで句にしました。

【西沢まもるの一言】  
これからの季節、ほんとに露天風呂からアッチの世界へ行ってしまうように気をつけましょう。



2001年 8月 題日焼け  
セールスマン 日焼けをさけて車ごと  
作/宮前 一枝

【宮前 一枝さん】  
誰にでもそんな場所はあるもの。以前はもっと他の場所で涼んでいたものですが、ご時世か、営業マンのサイフの中身もさびしいのでしょう。

【西沢まもるの一言】  
お宮や公園の日かげ、橋の下などで「避暑」を決めこんでいるクルマが多いですね。社名が入ったクルマはマズいそうです。そりゃそうですよね。



2001年 5月 題こいのぼり  
こいのぼり  
尻尾となりへおすそ分け  
作/若林 与孝

【若林 与孝さん】  
団地化し、家並みがこんでいる今、鯉のぼりをあげると風が吹かれて隣の家に尻尾が流れる。せめて、尻尾だけでも共有して祝う。そんな光景を川柳にしました。

【西沢まもるの一言】  
鯉のぼり、新緑、五月の風…。いい季節ですね。ワクワクしてきます。でも、これは健康なればこそでしょうね。からだをだいにしなくちゃ、ね！



2001年 2月 題雪ダルマ  
しなやかな 発想四角い 雪だるま  
作/内山 克子

【内山 克子さん】  
時事川柳。知事さんの有名な言葉を使わせていただきました。新世紀ですし、新たな発想が必要な時代。雪ダルマも四角張って、時代をにらんでいます。

【西沢まもるの一言】  
今冬は雪が多いので、四角や三角の雪だるまを作るチャンスです。でも、丸いのが一番作りやすいですね。昔はタドシという雪だるまの目にピタシの炭があったものです。



2001年 12月 題12月  
殺伐な 巳年も終わる 年の暮  
作/山本 美智子

【山本 美智子さん】  
米国でのテロ事件をはじめ、国内では狂牛病など。嫌なことの多かった巳年も師走を迎え、ふと詠んでみました。来年は良い年でありますように。

【西沢まもるの一言】  
新宮誕生のほかに楽しいニュースは少なかったですね。



2001年 9月 題おじいちゃん  
パソコンにはまって祖父のはしゃぎよう  
作/内山 克子

【内山 克子さん】  
現代は長寿社会。以前は「老いては子に従え」が普通だったのでしょうけど、今はパソコンにチャレンジするぐらいの元気が欲しいと思います。

【西沢まもるの一言】  
Eメールぐらいできないと、おじいちゃん・おばあちゃんの資格がないとき風潮ですね。でもほんとに、初めてのメール着信の嬉しいこと。お薦めですね。



2001年 6月 題梅雨  
雨上がり 犬の散歩と 妻の声  
作/出原 丈夫

【出原 丈夫さん】  
雨があがると、今までゴロゴロしていたのだから少しは動いてとばかりに、「犬の散歩に行つて来て」の声。文句は言えません。只今ウェスト90cm。

【西沢まもるの一言】  
雨上がりに限らず、犬の散歩をしている(させられている?) パパさんが多いですね。家では冷えたビールが待っているのでしょうか。いいなア。



2001年 3月 題卒業  
卒業はしても続くか 脛かじり  
作/鈴木 ツルエ

【鈴木 ツルエさん】  
いつまでも続くこの不況。“大学は出たけれど”で、先の見えない厳しさを親子で味わっておいでの方もあろうと思い、作りました。

【西沢まもるの一言】  
急にスネかじりをやめられたら、親はバランスをくずしてヨロけてしまうかも…。実は、いつまでも面倒をみたいのが親心なのではないでしょうか。